

今月の税金

固定資産税 第3期

9月30日までに忘れずに納めましょう

8月の行事から

- 7日 民生委員協議会
- 8日 教育委員会
- 11日 交通安全指導
- 11日 環境衛生協議会総会
- 12日 金融委員会
- 15日 交通安全指導
- 15日 成人式
- 20日 交通指導隊定例会
- 22日 金融委員会
- 24日 総合グラウンド開き
- 25日 小須戸祭
- 26日
- 28日 臨時議会
- 28日 農業共済損害評価会
- 29日 農業委員会

九月の相談員は次のとおりです。

- 九月一日 白井ミサヲ
- 九月八日 五十田 清
- 九月二十二日 木村敬三郎
- 九月二十九日 宮崎 純能
- 九月一日 城丸 富路
- 九月八日 佐藤徳之助
- 九月二十二日 長谷川信来
- 九月二十九日 岩崎 順治

心配ごと相談

心配ごと相談所は毎週月曜日に老人憩の家で午前10時から午後三時まで開かれております。家族関係、住居、健康、仕事、生活費でお悩みの方、その他なんでもお気軽にご相談ください。

【町の団体へご案内】

【その年】

小須戸町連合青年団

現在連合青年団に加入している地区青年団は、うでこぎ新保、鎌倉、町部、小向の五団体で、総勢約六十六名程度であり職業の多様化、地域

性の崩壊により団員数の激減は防ぐことができない。しかし、この伝統ある組織を次の世代に継承し、発展させていくことが現在の我々の責務だと確信している。数年前から「激動する現代社会」ということで、青年団の組織の必要性すら問われたものであったが、最近はそのが逆に幸いして再び地域性の重要さが認識されてきつつある。現に小向青年団が先月再加入し、また天ヶ沢青年団が新たに結成され、近々加入の動きを見せるなど、情勢は好転してきている。

もともと、昔のような青年団のイメージではなく時代に即応した「新しい青年団」を目ざして各単位団とも活動しているが、地域性は大切にしたい。特に青少年を持つ家庭、地域指導者各位のご理解・ご協力を賜りたいものである。

連青の活動内容としては、郡球技大会・県外交歓研修会若人の集い等であり、各地域での活動が本来の姿となっている。また、公民館等と共催して町民運動会・文化祭などの行事も行ってきている。目下のところは全地域に青年の組織を結成することが目標である。

次代を担う青少年の健全育成には当組織は欠かせないものと自責し、今後とも団員相互の和を基調とし、ボランティア活動や学習、研修をつまねて組織の強化・団員数の増加をはかって行きたいと思

在宅重度障害者

福祉手当のお知らせ

昭和50年10月から在宅の重度障害者のかたがたに福祉手当が支給されることになりました。該当されると思われる方は10月31日までに手続をして下さい。

1. 支給要件
 - (1) 精神及び身体に重度の障害を有し、日常生活に常時介護を要すること。
 - (2) 日本国籍を有し、現に小須戸町に所在地を有すること。
 - (3) 在宅の障害者で療養を事由とする他の制度による給付を受けていない者
2. 支給対象者
 - (1) 日常生活に常時介護を要する程度の身体障害者
 - (2) 特別児童扶養手当は併給できない

げんきな 生 よい子に出

すえ長く お幸せに結婚

二冥福を 祈ります 死亡

3. 手当額
 - 月額 四千元
 4. 支給月
 - 一月・五月・九月
- なお詳細については、町民生活課福祉係の番窓口におたずね下さい。

- 水野 清美 清ウデコキ
 - 目黒 泉美 一雄 矢代田一
 - 小林 和生 哲二矢代田十一
 - 斎藤 法道 登市 諏訪町一
 - 佐藤 健 潔 新栄町
 - 青木 斉 達勇矢代田十一
 - 土田 明子 正明 天ヶ沢一
 - 横山みゆき 義男 天ヶ沢一
 - 小林 早苗 信義 矢代田四
 - 菅井 克一 稔 諏訪町一
 - 米田奈津子 秀逸 小 向
 - 木伏美由紀 静男 矢代田
 - 原 孝広 末雄 大川前二
 - 佐藤 麻美 雄三 横川浜
 - 高野 大輔 幹男天ヶ沢新田
 - 本多 和宏 豊馬 矢代田二
 - 小池 孝雄富美雄 中央町三
 - 滝沢まゆみ 秋文 竜 玄
 - 渡辺 ウメ 50才 新保三
 - 内山 芳衛 46才 中央町二
 - 丸山ハルヨ 38才 新保一
 - 穴沢豊三郎 70才うでこぎ二
 - 佐藤 徳平 78才 (西幸町)
 - 丸山 マス 76才 中央町二
 - 船越与次郎 64才矢代田十一
 - 吉沢 チヨ 61才 鎌倉新田
 - 友坂 ウメ 72才 諏訪町二
 - 佐藤 ハナ 77才 蔵町三
- (七月十六日)
八月十五日受付)